



発行所 福井市大手3丁目2番18号 農業会館内 福井県農政連 電話(0776)27-8265

発行責任者 伊 阪 民 裕

農業者に寄り添った農政を！

共生・共創の地域農業



福井県農政連会長 岡田 高大

新年を迎え謹んでご挨拶を申し上げます。盟友の皆様には、ご家族お揃いでご健勝にて新春をお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

又日頃は農政連の各事業に対し、ご理解ご協力を賜っております事心より御礼申し上げます。

さて6年産米の作況は全国で作況指数101、福井県では102となっております。昨年は5年産米の不良から「令和の米騒動」と呼ばれる米不足が発生、一部店頭から精米がなくなる事象が発生し小売り価格が高騰し、その影響は6年産米においても高い水準となっております。

しかしながら生産コストの高止まりにより、現状の価格がコストに見合う価格とも言えません。これまでの米価が平成15年以降下落を続け米生産の継続が難しくなっていました。しかしながら米の消費は毎年度10万トンの減少傾向は変わらず、今後も需給に見合った生産が求められます。さて昨年は福井県農政連設立時から8支部体制を各市町を単位とした16支部体制に組織改革をいたしました。

この改革は現在の時代にあった、各地域毎の農政課題に向き合い、より身近な農政課題解決を図ると共に、より大きな結束を目的として実行されました。

またJAグループ役員農政への理解と運動の参画を目的とした、職域支部を立ち上げ一六〇〇名余りの新たな盟友の加盟を頂きました。時代に合わせて改革により、地域農業の共生、消費者にも生産コスト等の理解を得

る共創社会の実現にJA組織と一体となり取り組めます。

さて昨年は25年ぶりとなる「食料・農業・農村基本法」の改正がなされました。大きな改正のポイントは、食料安全保障の強化、持続可能な農業の推進、農業の経営の安定化、地域の活性化、デジタル技術の導入、国際競争力の強化等これらのポイントが農業政策の基本方針を再構築し、持続可能で強靱な農業の実現を目指すものと位置付けられています。

政府は今後5年間を「農業構造転換集中対策期間」と位置付け、基本計画が年度末に向け制定されますが、政策の裏付けとなる予算を十分に確保して頂きたいと思っております。

このような農政課題を国に繋げる我々組織の代表として、今年7月に予定されている第27回参議院議員選挙に系統組織代表候補として、北海道の道北なよろ農業協同組合会長の「東野ひでき」氏を全国農政連はじめ全国の農政組織、JAグループが推薦をいたしました。

又福井県選挙区では現職の農林水産副大臣で参議院議員の「滝波宏文」氏の推薦を致しました。今年7月に向けて、農政連JAグループ一丸となって推薦候補者を全面的に応援してまいりますので盟友の皆様のご協力を宜しくお願いたします。

本年も盟友皆様のご理解、ご協力を基に農政連活動を進めて参りたいと思っております。宜しくお願いたします。年頭に当たり盟友皆様のご健康とご多幸をご祈念し、挨拶と

未来につながる福井の農業



福井県知事 杉本 達治

新年明けましておめでとうございませう。日ごろから本県の農業行政の推進に格別のご理解、ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

福井県の基である農業は、食料供給の重要な産業の一つであるとともに、農耕によって水源涵養や防災の面で県民の生活を守り、地域に人が根付くことにもつながります。このような農業が、持続可能な成長産業に発展し続けるよう努めてまいります。しかし、農業を取り巻く情勢は、肥料をはじめとする資材高騰のほか、大雨や酷暑のような気象災害の激甚化・頻発化など、厳しさを増しております。

また、6年産米は在庫不足等の影響により、米価が例年になく高値となっております。生産者の方々には喜ばしい反面、消費者の米離れが懸念される所です。

このため、12月補正予算において、お米をたくさん消費する子育て世帯に対して、3・6億円の米消費拡大対策費を計上し

した。国においては、新たな食料・農業・農村基本計画を策定するとともに、その実現に向けて、老朽化した共同利用施設の再編合理化の支援や、施設園芸にかかる燃油価格高騰対策などを経済対策として補正予算で計上する予定です。

さて、昨年3月、北陸新幹線福井・敦賀が開業し、本県自慢のおいしい「食」を求めて、県外からたくさんの方がお越しになつております。

この機会をとらえ、いちほまれやそば、若狭牛など県産ブランド食材を定着させ、販売促進につなげるために、魅力の発信に努めてまいります。

一方で、農業の担い手の確保が課題となっております。畦畔や農道の管理、田んぼの水管理など、営農の継続や多面的機能の維持に必要な人材が不足しております。UターンやIターンなど幅広く農業人材を確保し、ふくい園芸カレッジにおいて技術面や経営面の研修を行うとともに、1億円の

持続可能な農業と豊かで暮らしやすい地域社会の実現に向けて



JA福井県五連会長 宮田 幸一

新年あけましておめでとうございませう。日頃より、本県農業の振興・発展と、需要に応じた米生産の取り組みについて、ご理解・ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。昨年は農業にとって激動の一年となりました。

世界規模で気候変動による自然災害が多発し、長引くウクライナ侵襲やイスラエル問題など不安定な世界情勢と合わせ、世界的な人口増加による農畜産物の消費の増加、生産資材の価格高止まりなど農家の営農継続に大きな影響を与えました。

米については、令和5年産米の不作の影響で令和6年産米の収穫前から在庫が品薄状態になり、令和6年6月末の米の民間在庫量が153万トンと発表されたことや台風などの夏の災害、更には南海トラフ地震の臨時情報が出されるなどで、消費者が米

の買いだめを行ったことが「令和の米騒動」の要因となりました。

福井県の令和6年産米作況指数は、「102」のやや良、全国での収穫量は679万トンで前年産に比べ18万トンの増加となり、6年産米での相対取引価格は、全銘柄平均で23,820円となっており、出荷業者と卸売業者等の間の取引価格として22,000円/60kgを超えたのは平成15年産以来となっております。

しかし、需要の面から中長期的にみれば、国内の主食用米の需要・消費は、人口減少や食の多様化、家族構成の変化等で今後も漸減していくことが想定されます。

こうした情勢を踏まえ、福井県では引き続き福井県産米の需要に応じた生産を実施していくこと、大麦、大豆、そば、新規需要米など水田フル活用に努めていくこと

販売高を目指す産地「園芸タウン」の整備などを進め、人材受入先の確保に努めます。また、集落営農組織においては高齢化による労働力や後継者不足の問題が顕在化しており、JAの営農指導員と県の普及指導員が「集落営農支援隊」となっており、個々の組織の相談に乗りながら二人三脚で課題解決を図ってまいります。

さらに、女性や外国人などが働きやすい環境を整えるための支援や、インドネシア農業省の連携による高度なスキルを備えた外国人材の確保など、多様な担い手が参画できる農業を目指します。

こうした取組みによって、農家の所得を最大化し、若い人たちが「希望あふれる」「かっこいい」「稼げる」「感動できる」と感じ、農業に携わる若者が増える社会に変えていくことが重要だと考えております。

これからも、本県農業のさらなる発展に向け、JAグループをはじめ、市町や関係機関と連携を深め、農業に携わるすべての人々が自信と誇りを持って農業の実現と、次代の農業を担う人材の確保・育成に全力で取り組んでまいりますので、ご協力をお願いいたします。

年頭にあたり、皆様のご多幸とご活躍をお祈り申し上げます。新年のごあいさつといたします。

が重要です。私たちJAグループの力だけでは対応が難しい課題が山積していますが、関係機関と協議し、高温に強い農産物の生産や園芸品目におけるあらゆる研究を実施し、早急に生産現場へ導入していかなければなりません。

福井県JAグループにおいては、第26回福井県JA大会で決議した「福井県のJAグループ未来づくり戦略」の実践3年目として、中長期ビジョンを行動計画などに具体化し、着実に実践してまいります。更なる農業者の所得向上に向け、県内農畜産物の地域ブランドの育成や消費者に対しての国産産物の推進、農畜産物価格への理解醸成に取り組むとともに、総合事業を通じてJAが組合員にとって「なくてはならない」存在であり続けるため、持続可能な農業と豊かで暮らしやすい地域社会の実現を目指してまいります。

結びになりますが、盟友の皆さまには、本年も変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げますとともに、皆さまのご繁栄とご多幸を心よりお祈り申し上げます。年頭のご挨拶といたします。

第27回参議院議員選挙 福井県選挙区は「滝波宏文」氏 比例区は「東野ひでき」氏を推薦

今年7月に行われる、第27回参議院議員選挙福井県選挙区には現職の農林水産副大臣の滝波宏文氏を推薦しました。

滝波氏には昨年11月に開催した第62回農政連幹部研修会にて、岡田農政連会長、宮田JA五連会長より推薦証が手渡されました。

滝波氏はこれまで参議院の農林水産委員会の委員長を務められ、昨年改正された「食料・農業・農村基本法」の改正にも大きく関わられ、JAグループの要請も取り入れられた基本法の改正となっています。

今年の通常国会では改正法に基づき基本計画が策定されますが、農業者が希望をもって、農業生産に取組める様、



基本計画が十分な財源の裏付けにより制定される事を希望します。

全国比例区では昨年7月に自民党の第1次公認候補となった、JA道北なよらの代表理事組合長「東野ひでき」氏を全国農政連・福井県農政連・JA福井県五連ともに推薦しています。

8月27日・28日の両日JA福井県の旧基幹支店、越前たけふ本店、JA五連の各地域8会場、励ます会を開催しました。各地域での支部長の挨拶後、東野ひでき氏が意気込みを述べました。参議院全国比例区は各政党の得票数(政党名+個人名)で当選人数が決定し、各党では個人名の上位から当選となります。選挙では個人名が重要となります。

次期参議院選挙は、原点・白紙に立ち返って、改めて全盟友、組合員、役員が危機感を共有し、組織代表を擁立する意義等を全組織での理解と納得のもとで取り組む必要があります。



第62回福井県農政連 幹部研修会開催

11月18日にあわら市のグランディア芳泉において、「第62回福井県農政連幹部研修会」が200名の盟友の参集を得て開催されました。

第27回参議院議員選挙推薦候補者として農政連、JA五連より滝波宏文氏に推薦証を交付した後、衆議院議員高市早苗氏による「日本の国力を強くするために」と題して講演を頂きました。



又、農林中金総合研究所の平澤明彦理事が「食料安全と今後の農業」と題して講演を頂きました。

謹賀新年

会長 岡田 高大
副会長 有田 正信
副会長 幸池 享
会計責任者 平山 彌利
監査委員 黒田 宗雲
〃 呉林 堅

福井市支部支部長 岩崎 眞次
永平寺町支部支部長 平山 彌利
坂井市支部支部長 有田 正信
あわら市支部支部長 山口 志代治
大野市支部支部長 黒田 宗雲
勝山市支部支部長 石橋 政光
鯖江市支部支部長 齊藤 雅幸
池田町支部支部長 松倉 治和
越前町支部支部長 笠原 義和
南条支部支部長 大塚 与四郎
敦賀市支部支部長 鶴光 雄
美浜町支部支部長 石丸 博治
若狭町支部支部長 呉林 堅
小浜市支部支部長 幸池 享
おい町支部支部長 猿橋 啓一
高浜町支部支部長 井ノ元 康夫
県農協青壮年部会長 田中 勇樹
JA県女性協会会長 高島 美津子

ふくい農業と
くらしを
いつまでも安心に

カンタン手続き、安心サポート。
JAの
年金受取

実りある未来を、こいっしょに。
JAの農業融資

もっとお得、もっと便利。
JA CARD

あなたの夢を、種々なカタチに。
JAの
住宅ローン

JAバンク
プラス

《JAバンクアプラス QRコード》

福井市大手3丁目2番18号
TEL:0776-50-7600

詳しくは、お近くのJA窓口までお問い合わせください。